

## 未来社会創造事業 探索加速型探索研究

### 事後評価結果

#### 1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

#### 2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

#### 3. 研究開発課題名

スーパーセキュリティゲートの実現

#### 4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

木村 建次郎(神戸大学 数理データサイエンスセンター 教授)

#### 5. 評価結果

磁性体を非侵襲かつ無被曝にて映像化する本研究開発は、衣服や鞆内に隠して所持する刃物や銃等の凶器をウォークスルーで検出できるセキュリティゲートとして魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、計画を前倒して完成させた室温動作の高感度磁気リニアセンサの試作、電磁場再構成理論に基づく磁場空間分布のリアルタイム映像化、独自の磁気センサー駆動方式による高分解能化・高感度化など顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、社会実装に向けてナビゲーターシステムとして実装したときの社会的インパクトや課題の抽出、情報提供手段など「対応」に関する研究課題の検討が不十分であることから、探索研究で終了という評価となった。

以上